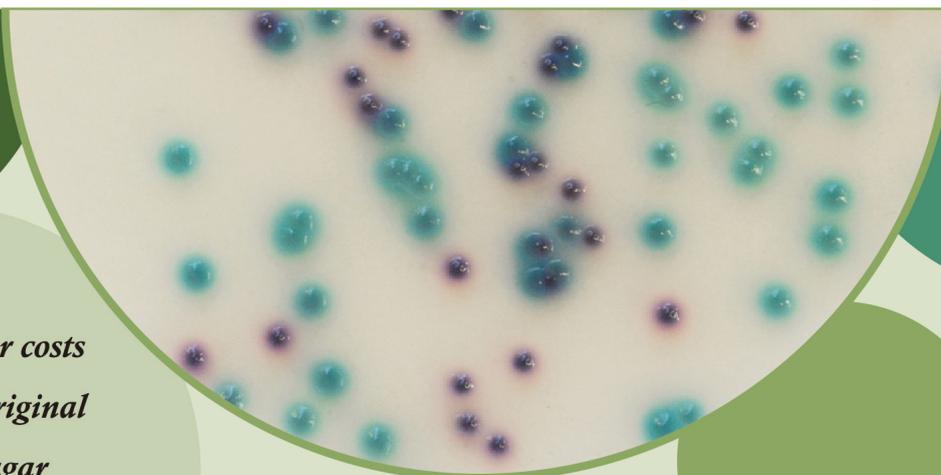


クロモアガー™ シュードモナス

Save time,
save labour costs
with the original
CHROMagar



シュードモナス属菌

シュードモナス属菌は土壌、植物、淡水および海洋生息地に存在する遍在性の細菌です。多くのシュードモナス属菌は低温で増殖することから、冷蔵保管されている食品や医薬品を汚染する可能性があります。これらの好冷性シュードモナス属菌は、乳製品や卵、肉、魚といった食品の腐敗を引き起しますが、食中毒の原因となることはほとんどありません。

一方で、シュードモナス属菌の中でも緑膿菌 (*Pseudomonas aeruginosa*) は日和見感染症起因菌であり、感染防御能が低下したヒトに対して、敗血症や肺炎、創傷感染症、尿路感染症を引き起こします。本菌の伝播の多くが水と関連していることから、プールの水や温泉水、環境水の消毒効果を示す有効な指標となっています。

特長

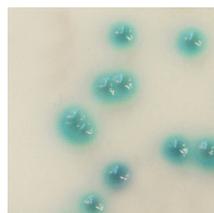
- シュードモナス属菌のスクリーニングを目的とした選択分離培地です。
- 従来の培地と異なり、コロニーの色調によって緑膿菌 (*Pseudomonas aeruginosa*) を含むシュードモナス属菌を容易にスクリーニングできます。

典型的なコロニー色

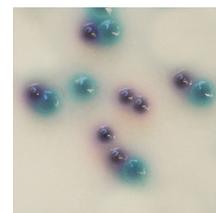
菌種名	コロニー色調
シュードモナス属菌	→ 青緑色
ほとんどの腸内細菌科菌群	→ 藤色～バイオレット または抑制
グラム陽性菌	→ 抑制

<培養所見>

37 °Cで24 時間好気培養



緑膿菌 (*P. aeruginosa*) を含むシュードモナス属菌
青緑色



ほとんどの腸内細菌科菌群
藤色～バイオレット色
または抑制

培地組成

培地組成

ペプトン	20.0 g
塩類	8.0 g
選択剤と特殊酵素基質混合物	2.5 g
寒天	15.0 g
合計	45.5 g/L

pH: 7.5±0.2

調製方法

・本品45.5 gを1 Lの精製水に懸濁して良く分散させ、寒天が膨潤するまで攪拌後、以下の方法で培地を溶解させます

(湯せんを使用する場合)

沸騰浴中で加熱し、培地成分を完全に溶解させます。

(電子レンジを使用する場合)

沸騰するまで加熱後、取り出しよく攪拌します。この操作を繰り返し、寒天の粒子を完全に溶解させます。

(オートクレーブを使用する場合)

圧力を加えず、100 °Cを超えないようにしてください。

・45 °C～50 °Cまで冷却し、静かに攪拌させ、完全に均質化した後、シャーレに分注してください。

調製後の保存

調製した培地は遮光して乾燥を避け、冷蔵(2 °C～8 °C)すれば、1か月間保存できます。

製品情報

製品番号	製品名	容量	保存温度
49958-56 *	クロモアガー™ シュードモナス	5 L用	15 °C～30 °C

*製造元: CHROMagar (フランス)

CHROMagar™はDr. Rambachの登録商標です。

- 本記載の製品は、試薬(試験、研究用として用いる化学薬品)としての用途にご利用ください。
- 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。最新情報は、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。

 **関東化学株式会社**
試薬事業本部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号
TEL: 03-6214-1090
HP: <https://www.kanto.co.jp>

培養条件

37 °Cで24時間～36時間好気培養してください。損傷菌が疑われる場合は、必要に応じて追加で48時間まで培養してください。

*P. aeruginosa*の分離を目的とする場合は、検体や分野に応じて、37 °Cまたは41 °Cで24時間培養してください。

品質管理株

菌種名		コロニー色調
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC® 9027	→	青緑色
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC® 10145	→	青緑色
<i>Klebsiella pneumoniae</i> ATCC® BAA-1705	→	バイオレット
<i>Escherichia coli</i> ATCC® 25922	→	抑制
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC® 25923	→	抑制
<i>Enterococcus faecalis</i> ATCC® 29212	→	抑制